

# 美味しい‘ひめの凜’はこう作る (1)

## —葉色を見て追肥の実施—

農林水産研究所

### 出穂20日前（幼穂長2mm）の葉色に応じて 追肥を実施しましょう

○**基肥—穂肥体系**の場合、**葉色による穂肥診断をもとに施肥量を決定**します。

基肥—穂肥体系での葉色ごとの穂肥施用量の目安

葉色 (SPAD値)	葉色 (葉色板)	穂肥量 (Nkg/10a)	備考
31~33	4	4	基準量
34~36	4.5	3	基準量比2~3割減
37以上	5	(再診断後2kg以下)	葉色が下がってから施肥の可否を再診断



SPADでの葉色の測定



葉色板

○**基肥—発体系**の場合、**葉色が淡ければ (SPAD値で33以下) 窒素成分で2kg/10a程度の追肥を施用**します。

葉色が落ちたら  
穂肥施用

穂肥の施用で  
品質をアップ

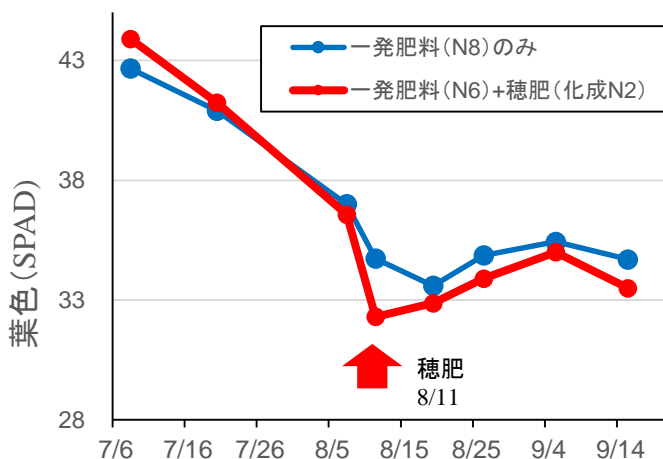


図 ‘ひめの凜’ の葉色の推移 (2020年)

表 基肥—発肥料使用時の穂肥の効果 (2020年)

試験区	収量 (kg/10a)	登熟歩合 (%)	整粒割合 (%)	玄米蛋白含有率 (%)
一発肥料 (N8) のみ	592	77	78	7.0
一発肥料 (N6) + 穂肥 (化成N2)	590	87	84	6.7

注) 玄米蛋白含有率は水分15.0%換算

# 美味しい‘ひめの凩’はこう作る(2)

## —中干し開始時期—

農林水産研究所

**田植え30日後**に中干しを開始しましょう！！

過剰な分けつを防ぎ、有効茎歩合を高めることが  
収量の増加・品質の向上に繋がります。

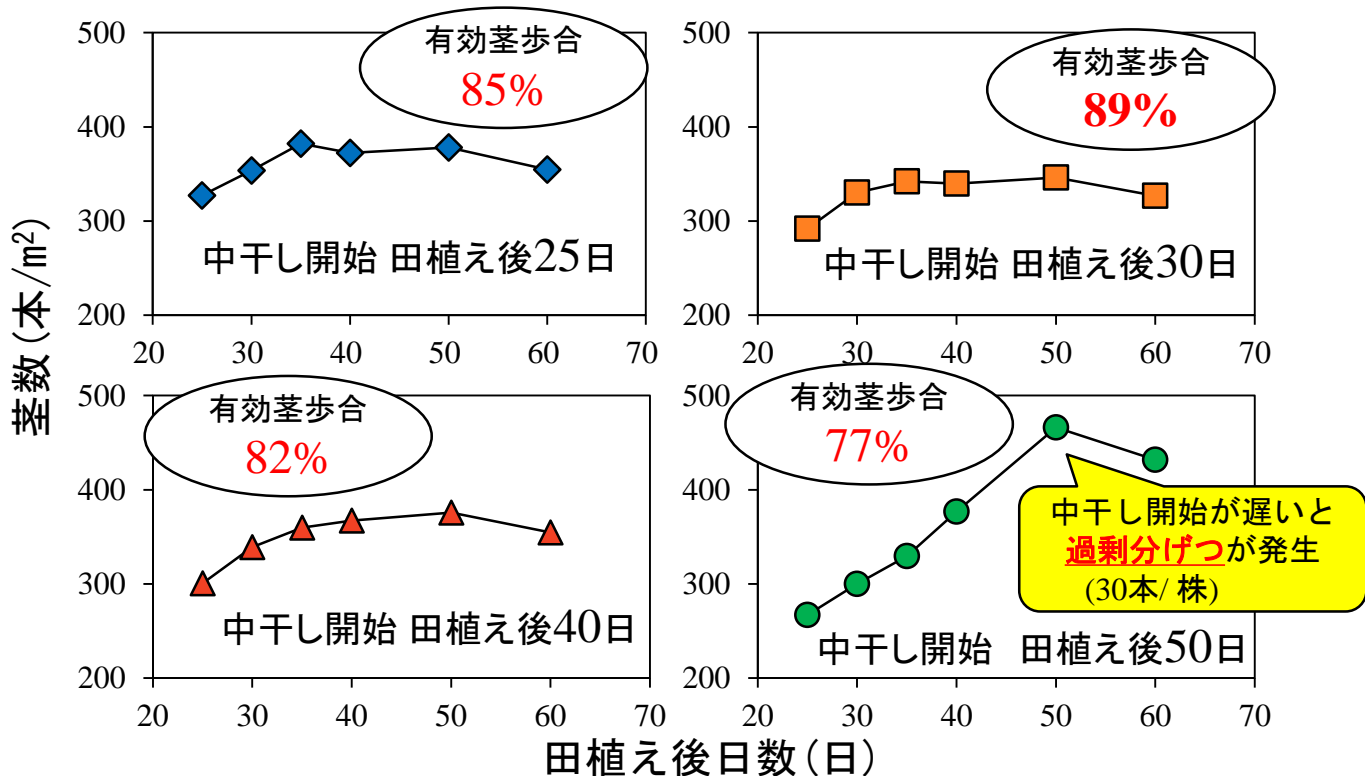


図1 中干し開始時期の違いによる茎数の推移(2020年)

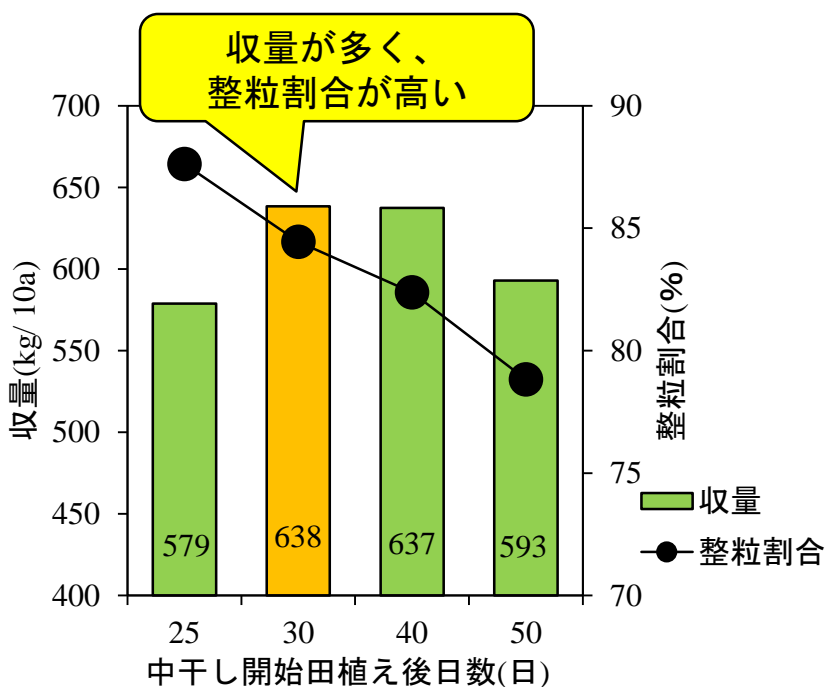


図2 中干し開始時期の違いによる収量と品質(2020年)



田面に小ヒビが入った水田



田面に大ヒビが入った水田

**乾かしすぎは禁物！**